

完成した「とやまふおんど」を喜ぶアーティスト



Tukushi no chikara

## フクシとアートがコラボする!! 「とやまふおんど」 ——文字・絵のデータ化——

富山県・社会福祉法人湊明会  
多機能型事業所花椿かがやき 管理者  
**坂田佳永子**

### 「とやまふおんど」って何?!

一般社団法人シブヤフォントは、「平成28年度渋谷みやげ開発プロジェクト」で始めた渋谷を舞台に企業×福祉×デザインの共同事業「シブヤフォント」をさらに発展させるために設立されました。障がいのある人が書いた文字や絵をデザイン化することでより価値を高め、アートワークによる仕事を生み出すなどの画期的な活動をしています。この活動を全国に広げた取り組みが「ご当地フォント」で、現在7県がこ

のプロジェクトに参加しています。

「富山県障害者芸術活動支援センター ばーと◎とやま」(以下、ばーと◎とやま)と「シブヤフォント」が連携して県内のデザイナーや福祉の関係者に呼び掛けて制作したのが「とやまふおんど」です。プロデュースされた文字の使用は無料ですが、パターン(絵)を利用する場合は、著作権料に利用料が発生します。その費用が事業所を経由してアーティスト(利用者)に還元されています。

花椿かがやきが、「ご当地フォント」に参

加したきっかけは、「ばーと◎とやま」が事業のとして一環で取り組んでいた、富山県と石川県で障害のある人のアートに関心のある人達がつながりを生かし、アート活動を通じた社会参加に取り組む「cotaeネットワーク」にスタッフが参加したことでした。展覧会などで以前からつながりのあった、ばーと◎とやま代表の米田昌功氏と利用者の作品をどのように製品に生かしていくかを話し合う中で、何気なく刺し子(日本古来の伝統手芸)を見ていただいたことが、「ご当地フォント」への参加へとつながりました。

### 「トふおんど」誕生!!

花椿かがやきが、渋谷発・全国初のご当地フォント展に参加した際に、富山県の「とやまふおんど」第1弾として登場したのが

「トふおんど」です。

### 「トふおんど」誕生秘話1

花椿かがやきの活動で日々刺し子に打ち込む境さんは、在りし日のお母さんの手伝いでよく一緒に糸巻きをしていたことから手先が器用です。刺繍糸の色目をセレクトしながら、一針一針でいねいに縫い上げます。仕上がった作品を「誰に見せたいですか?」と尋ねると、迷わず「お父さん!」と答えます。普段は寡黙な境さんの心に響く一言でした。

コロナ禍の2021年、花椿かがやきでワークショップを開きました。その時、来場していたシブヤフォントアートディレクターのライラ・カセム氏とデザイナーの山口氏は、なかなか帰宅ができずお父さんへの思いを募らせている境さんのようすを見て、「お父さんフォント……、お父さんフォント……、



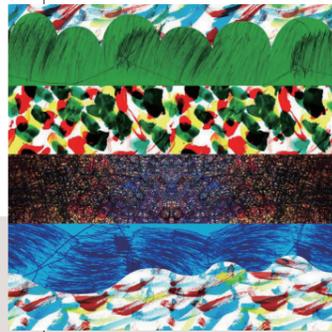
ラブ&ピース



みんなで創作活動!

とやま文様





やまみルフィーユ

「トふおんと!!」と連想され、「トふおんと」誕生の瞬間となりました。

### 「トふおんと」誕生秘話2

母親と二人三脚で歩んで来た定村さんの刺し子も「トふおんと」に登録されました。その作風は境さんの力強いそれとは異なり、一文字に何回も縫い込む慎重確実スタイルです。二人の異なる個性が互いを輝かせ、ここに「さしコンビ」が結成されました。

### 自然豊かな富山パターン勢ぞろい!!

「とやまふおんと」の第1弾となった「トふおんと」の間には、5種類の絵をデータ化したパターンと呼ばれるものもあります。フォント同様、刺し子を用いた「とやま文様」、アイロンビーズをビーズがペラペラになるまでアイロンがけを頑張った「ラブ&ビーズ」、3名の利用者の作品が富山の海や山をイメージさせてくれる「やまみルフィーユ」、勢いよく流れる水が特徴の「無限ダム」など、どの作品も見ていると富山を楽しめて、心が和むようなものばかりです。「おしゃべりチューリップ」を制作した嶋田さんはこう言います。「私の作ったチューリップみんなかわいって言ってくれるかな」「次もっと頑張って、またテレビ出たいわ」満面の笑みの中にも、みなぎる自信が満ちあふれていました。

今後は第2弾として、自立サポートJamから生まれた「Jamフォント」のデビューが予定されています。「Jamフォント」は富山の自然に包まれるような雰囲気により癒しを与えてくれる「とやまふおんと」のニューフェイスです。これからのチーム「とやまふおんと」のさらなる盛り上がりを楽しみます。

### 異業種コラボ……皆さんに支えられ

「トふおんと」の制作には前述のとおり、異業種コラボならではの少しの不安とたく

さんのワクワク感がありました。福祉の垣根を越えた専門的なアドバイスに制作意欲が高まる利用者も増え、コラボによって広がる多くの人とのコミュニケーションに、利用者そしてスタッフも刺激を受けました。

しかし、異業種コラボのすばらしさを実感する一方で、人とのつながりが増えることでの新たな悩みも生じました。調整のためにいろいろな方と連携を図るもの、最終的な方向性が定まらずに頭を抱えることもしばしばありました。

そんな時、利用者の皆さんの笑顔が浮かんで安堵することが数多くありました。そして、もっと多くの人に作品の価値を知ってほしいと願う気持ちが強く沸き起こりました。また、様々な思いの葛藤中も利用者に寄り添い、明るい雰囲気づくりを心掛けながら支援してくれるスタッフに助けられ、前を向いて課題に取り組むことができました。

多くの人々に支えられたことで、これまでポジティブに歩んで来ることができたように思います。花椿かがやきに関わるすべての人に感謝の念が絶えません。

### フクシ×アート

様々な思いを胸に「とやまふおんと」の制作が進む中、花椿かがやきには、たびたびデザイナーやテレビ局、新聞等マスコミ関係者が来訪しました。当初は、いつもと違う環境や雰囲気に利用者が戸惑い、不安になることを心配しました。しかし、「とやまふおんと」で結ばれたご縁は、日々の交流の積み重ねによってつながりが深まり、緊張感をも溶かしてくれるような温かみのある関係性を築かせてくれました。デザイナーの山口氏は細かい縫い目をていねいに1つずつ拾いあげ、「さしコンビ」の刺し子を見事にデザイン化してくださいました。時には、スケジュール通りに刺し子が仕上

がらず、1つの文字ができるたびに山口氏のもとへ届けることもありましたが、利用者の作品が社会で脚光を浴びる日を夢見る時、その苦労も吹き飛びました。

パターンも、自然な発想で創造された素直な感性が「そのまま」表現されています。利用者のありのままの個性が表現されているものだからこそ、富山の自然や原風景から伝わる温かさや素朴さが感じられる作品に仕上がったのではないかとデザイナー山口氏に感謝しています。

### フクシ×アート×企業

「トふおんと」が完成した直後、「是非、自社製品に使用したい」との問い合わせがありました。うれしさと不安が入り混じる中、話とはとん拍子に進み、魚津酒造が等外米で醸造した新銘柄の日本酒に「sonomama」という「とやまふおんと」のラベルが使用されました。また、株式会社能作では、「トふおんと」の5つのパターンを利用した錫製のキーホルダーを商品化してもらいました。これらの商品は絶賛発売中です。この取り組みの背景にも、ばーと◎とやまの米田代表の多くのサポートがありました。企業とのコラボ商品は、その反響も大きく、利用者や家族からも多くの喜びの声を寄せていただき、感謝のコメントも頂戴しました。これらのメッセージは、スタッフの大きな励みになりました。

### フクシ×アート×行政

企業の利用事例の他にも、花椿かがやきの地元の南砺市エコヴィレッジ推進課からも依頼があり、同市のイベントのポスターやチラシを制作しました。

また、障害者の理解と啓発を目的に富山県庁に「とやまふおんと」の活用についてお願いがあがったところ、まずは、庁舎の正面玄関の一部を一定期間ディスプレイ

して周知してはどうかと提案いただき、大がかりな立体広告づくりに挑戦することになりました。期間中には利用者スタッフ全員で県庁を訪問し、その展示をそれぞれの目に焼き付けました。「また次何か作ったら飾ってほしいね」という利用者の声に、作業へのモチベーションが高まってきている希望を感じました。

### おわりに

今回の執筆を機に、花椿かがやきにおけるこれまでのアールブリュットの取り組みについて振り返ってみました。紆余曲折しながらも「とやまふおんと」を通じてたくさんの人との出会いがあり、そこにはいつも多くの気付きと学び、そして人の温かさがありました。

今後もこれまでの出会いや経験を財産に、アーティストである利用者が「とやまふおんと」の活動を通じて、豊かで実り多い人生を送れるよう共に歩んでいきたいと思えます。

### 【お問い合わせ先】

社会福祉法人溪明会  
多機能型事業所花椿かがやき  
〒939-1533 富山県南砺市八塚580-1  
TEL0763-22-2252 FAX0763-22-2205  
<https://www.keimeikai.jp/>



無限ダム

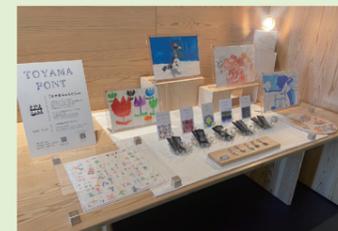
フクシノチカラ

Tukushi no chikara

フクシノチカラ



おしゃべりチューリップ



商品化した「錫製キーホルダー」



富山県庁舎エントランスのディスプレイ



嶋田酒造「そのまま」のラベル



県庁のディスプレイをみんなで見学